

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	児童デイ ワンハート穴吹			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 14日 ~ 2025年 12月 13日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0名	(回答者数)	0名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 14日 ~ 2025年 12月 13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 24日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画書には支援に必要な項目、具体的な支援内容を適切に設定し、計画書に沿った支援を行っている。	十分な現状把握、保護者の方や関係機関からの情報収集をしつかりを行い計画書を作成しています。職員間で情報を共有し、統一した支援を行っています。	今後さらに個々に応じた支援の充実が図れるよう、個別支援、活動プログラムの工夫を行っていきます。ご利用者様本人のニーズに沿った計画となるよう、関わりを深めていきます。
2	定期的に、面談や子育てに関する助言等支援を行っている。	必要に応じて面談を実施、電話や送迎時などに日々の様子や子育ての悩み、困りごと等積極的に伺うようにしています。	保護者の方から話を伺う機会を継続して設けていきます。
3	事業所の支援に満足している。	子どもたちが目標ややりがいを感じられる支援の提供を意識して取り組んでいます。休業日には外出活動や買い物学習、おやつ作りなどの活動を取り入れ、より多くの社会経験を積めるよう工夫しています。	地域で開催されているイベントなどに参加し、地域交流を行うことが出来るよう活動を企画していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「保育園や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の他の子どもと活動する機会」を活動として提供する機会が少ない。	訪問側の承諾が得られず、交流の機会を設けることが困難な場合があります。	地域で開催されているイベントに参加したり、地域のお店にお買い物に行くなど交流する機会もありますが、保護者の方の要望等伺いながら、認定こども園等必要とされている交流の方法を検討していきます。
2	保護者同士の交流の機会が少ない。	家族会を開催し意見交換等行う機会を設けたり、外部交流会の案内掲示等行っていますが、開催日の調整や周知が不十分であることが原因と考えます。	必要に応じて家族会の日程調整を行う等し、より多くの方に参加して頂けるよう検討していきます。また、保護者の方にも参加していただけるイベントの企画や外部で開催されている保護者交流会の情報提供等を行っていきます。
3			

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	児童デイ ワンハート穴吹			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 14日 ~ 2025年 12月 13日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 14日 ~ 2025年 12月 13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画書には支援に必要な項目、具体的な支援内容を適切に設定し、計画書に沿った支援を行っている。	職員が連携して子どもの様子を観察し、支援方法を都度相談・見直しすることで、質の高い療育を行っています。また、マンツーマンでの対応も状況に応じて取り入れ、子どものその時の状態に合わせた支援を行っています。	「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」というカテゴリーを意識した上で短所を減らし、長所を伸ばせるような活動を企画していきます。
2	平日には室内での工作やゲームを企画し、子どもたち同士で考えたり意見を出したりしながら楽しめる活動を提供している。	子どもたちが身体を動かして活動できるよう、平日でも定期的に短時間ではありますが外での活動を取り入れています。	5領域を理解し、それぞれの子どもたちに必要な療育を行えるような活動を行っていきます。
3	職員も子どもたちと一緒に活動や遊びに参加し、会話の中でのやり取りや細かな行動の変化に気づき、それに応じた助言や支援を行っている。	子どもたちが自分から考え、工夫しながら「できた」と思えるような達成感のある活動を行い、取り組んでいます。休業日には外出活動やおやつ作りなどを行い、さまざまな社会経験を積めるよう工夫しています。	今後も地域で開催されているイベントなどに参加し、地域との交流を図れるよう活動を企画していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会」を活動として提供する機会が少ない。	訪問側の承諾が得られず、交流の機会を設けることが困難な場合があります。	地域で開催されているイベントに参加したり、地域のお店にお買い物に行くなど交流する機会もありますが、保護者の方の要望等伺いながら、放課後児童クラブ等必要とされている交流の方法を検討していきます。
2	5領域での「運動・感覚」について取り組みが少し弱いと感じる。	言葉遊びやルール遊びを重視した机上の活動が多くなっている部分があります。	限られた空間で身体を動かしたり、手先を使った活動をより多く企画していきます。
3			